

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	225	学校名	仙台市立八木山中学校	校長名	手塚 幹史
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

生徒会によるエコ・スクール活動



2 取組の紹介

○生徒会執行部

・エコ・キャップ運動

ペットボトルキャップの回収 Box を作製し、各学年のフロアに1か所設置しました。Box 内に集められたキャップについては、手袋等で感染対策をしながら執行部が月に一度回収します。ボランティア委員会と協力し合い、ポスターの掲示や各学級の声掛けをした結果各家庭から多くの理解を得られ、現在 40kg 以上のキャップが回収されました。回収したキャップは株式会社サイコー様を経由し、発展途上国の子どもたちへワクチンとして届けられます。



ペットボトルキャップ
回収 Box

○ボランティア委員会

・各教室に古紙回収 Box の設置

リサイクル精神の涵養を目的としてボランティア委員会で各教室に古紙回収 Box を設置し、プリントの残部等再利用できる紙を回収しました。委員が一週間に一度、各教室の回収 Box を持ち寄って古紙の仕分け作業を行います。Box に集められた古紙はサイズや色、個人情報が含まれているものなどを確認しながら分別しました。



古紙回収 Box

○その他ボランティア活動

・地域清掃・学校整備ボランティア

年1～2回の清掃ボランティアを実施しています。各地区担当の保護者に協力をしていただきながら行っています。ゴミや落ち葉拾いを中心に地域の清掃を行いました。

学校整備ボランティアでは、緑豊かな八木山中学校をよりきれいにするためにボランティア生徒が学校の美化に努めました。



学校整備の様子

3 取組の成果 (生徒の変容)

エコ・キャップ運動や古紙回収では、身の回りの使わないものをそのまま捨てずに資源として再利用することで、社会に貢献しようとする姿勢が見られました。特定の生徒だけでなく、執行部や委員による周囲への呼び掛け、ポスターの掲示、プリントの配付等によって、多くの生徒がペットボトルキャップや古紙の回収などに積極的に参加しました。上記の活動をとおして、生徒のエコロジーに対する意識が高まったと考えられます。今後も呼び掛けを継続し、より多くの生徒が参加する活動にしたいと思います。